

神話の世界へ誘う 10周年の田んぼアート

6月17日・18日にボランティアと田植え体験参加者約950人が苗を植えた古代蓮の里東側の田んぼにアートが浮かび上がりました。

今年行田米のPRと豊作を願い、稲田の守護神や美田の女神として親しまれているイナダヒメノミコトとヤマタノオロチ伝説で知られる夫のスサノノミコトが描かれました。10周年を迎えた世界最大の田んぼアートは古代蓮会館展望室から11月14日火まで鑑賞することができます。ぜひ、ご覧ください。



写真館

GYODA CITY
PHOTO STUDIO



第20回を記念し「行田音頭」を大合唱

7月2日、産業文化会館ホールで行田市文化団体ステージ発表会「ときめきレインボーフェスティバル」が開かれました。

今年は第20回記念として、オープニングで「行田音頭」を会場にいる皆さんと一緒に合唱する特別プログラムが行われました。行田市合唱連盟のリードもあって、ホール全体に晴れやかな歌声が響き渡っていました。その後も大正琴や日本舞踊など11の団体による日頃の成果が披露され、心ときめくパフォーマンスで観客を魅了していました。



山本地方創生担当大臣が 足袋蔵などを視察

7月6日、山本幸三地方創生担当大臣が本市を視察しました。きねや足袋株式会社の製造工場、中心市街地の足袋蔵「忠次郎蔵」、「牧禎舎」、「牧野本店・足袋とくらしの博物館」を見学後、古代蓮の里で田んぼアートを鑑賞しました。

視察を終えた山本大臣は「地元の資源をしっかりと活用し、それにイノベーションを加えて地方を元気にしようという姿勢に感動しました。これは、まさに私が目指している地方創生そのものであり、大変心強く思いました」と感想を述べました。



綱を引き合う選手たちに熱い声援

6月24日、行田グリーンアリーナで第27回行田市綱引き大会が開催されました。

市内の小学生47チーム472人が参加し、低学年・中学年・高学年の部に分かれて優勝を争いました。チーム一丸となり力を合わせて綱を引き合う選手たち。一進一退の攻防にチームメートや家族から熱い声援が送られていました。



早朝から多彩なイベントでにぎわう 第20回行田蓮まつり

7月9日、古代蓮の里で第20回行田蓮まつりが開催され、早朝から多くの来場者でにぎわいました。

蓮が見頃を迎えた会場では、白河市や上野村などの特産品コーナーをはじめ、かき氷販売、風船釣りなどさまざまなブースが設けられた他、蓮粥、蓮餅などが振る舞われました。また、世界の蓮園の前に設けられたメインステージではコーラスやフラダンスなどが披露され、イベントを盛り上げました。



親子で七夕飾りづくりを楽しむ

7月1日、児童センター遊戯室で「七夕かざりをつくろう」が開催されました。

折り紙で七夕飾りを作り、本物の竹に飾り付けるこの催しに、74人が参加。折り紙を切ったり、貼ったりして織り姫とひこ星、輪飾りなどを作りました。親子で協力しながら七夕飾りの制作に取り組んだ時間は、子供たちにとって良い思い出になったことでしょう。



新体制が始動! 「大将まつり」

6月24日、忍城址東門で忍城おもてなし甲冑隊による「成田長親忍城城代就任427周年記念大将まつり」が開催されました。

新体制では、新メンバーとして「甲斐姫」と新キャラクター「村人しげ翁」が加わり、既存のメンバーの配役も変更となりました。

この日披露された「あおだいずのうた」のパフォーマンスや演舞、トークは今まで以上に勢いが増し、会場は歓声と笑いに包まれていました。今後の彼らの活躍に、さらなる期待が高まります。

「市報ぎょうだ」7月号27ページの「写真館」のコーナー「暑い夏を前に熱中症対策を学ぶ」の記事の中で、気象予報士の平井さんのお名前の表記に誤りがありました。正しくは「平井史生」さんです。おわびして訂正させていただきます。